

1 液反応硬化形シリコン変性樹脂屋根用塗料

ニッペ シリコンルーフⅡ

更なる進化を遂げたニッペシリコンルーフ

特長

1 美しい仕上がり

「高光沢・肉持ち感」を持つ高級感のある美しい仕上がりになります。

2 強靱な塗膜

積雪、滑雪などの厳しい自然環境に耐える、高い耐久性があります。

3 冬場の施工も安心

速乾タイプなので、冬場の塗装においても高い作業性・光沢感が得られます。

4 便利な1液タイプ

2液形ウレタン塗料の信頼性を1液形シリコン塗料で実現しました。硬化剤を入れる手間や残ネタのムダがない便利な1液タイプです。

5 豊富な色数

常備色25色の豊富な色展開により、街の景観を豊かに彩ることができます。

標準塗装仕様 鋼板屋根、トタン屋根 塗り替え							
工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜、さび、付着物などの周辺をワイヤーブラシ、ケレン棒などで除去する。溶接部のさびは、電動工具で除去する。油脂分、水分は溶剤ふきを行い清浄な面とする。						
下塗り	ニッペハイボンルーフデクロ または ニッペ1液ハイボンファインデクロ	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内	塗料用 シンナーA	5~10	はけ、ウールローラー
上塗り	ニッペシリコンルーフⅡ	2	0.12~0.14	2時間以上	塗料用 シンナーA	5~15	はけ、ウールローラー、 エアレススプレー

注) 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などによりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

注) 塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

注) シルバー色の使用量は0.07~0.10 (kg/㎡/回)、希釈率は0~10 (%)となります。

標準塗装仕様 住宅用化粧スレート屋根、波形スレート屋根 塗り替え							
工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	ごみ、ほこり、かび、こけ、藻など、付着物は入念に除去する。素地に近づけ9.8MPa(=100kgf/cm ²)以上の高圧水洗が望ましいが、高圧水洗ができない場合はホースで水を流しながら金属ワイヤーブラシなどを用いて清掃する。水洗後は翌日まで乾燥させる。旧塗膜がある場合は、浮いたり、割れたり、膨れたりしている劣化塗膜、露出している着色セメント層を入念に除去する。十分に付着している活膜は残してよい。						
下塗り	2液	1~2 ※1	ニッペファイン浸透造膜シーラー	0.16~0.20	4時間以上7日以内 ※2	無希釈 ※3	-
	2液		ニッペファイン浸透シーラー	0.15~0.30	3時間以上7日以内 ※2		
	1液		ニッペ1液ベストシーラー	0.15~0.30	3時間以上7日以内 ※2		
	1液		ニッペシリコンベスト強化シーラー	0.20~0.40	2時間以上7日以内 ※2		
上塗り	ニッペシリコンルーフⅡ	2	0.15~0.18	2時間以上	塗料用 シンナーA	5~15	はけ、ウールローラー、 エアレススプレー
縁切り	水切り部で化粧スレートの上下の重なり部分が塗料でつまっている箇所は縁切りを行う。						

注) 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などによりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

注) 旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。注) シーラーの適用についての詳細な仕様については、別途「スレート屋根用塗料シリーズ」のカタログをご覧ください。

※1 シーラーは、ぬれ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。また、シーラー乾燥後ガムテープで基材のはがれがないかチェックし、はがれなどがある場合は再度シーラーを塗りしてください。 ※2 「ニッペ1液ベストシーラー」「ニッペシリコンベスト強化シーラー」「ニッペファイン浸透シーラー」「ニッペファイン浸透造膜シーラー」は、高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。 ※3 少しでも希釈すると付着性が低下します。

商品体系	
塗料名	ニッペシリコンルーフⅡ
系統	1液反応硬化形シリコン変性樹脂屋根用塗料
容量	14kg、7kg
色相	14kg：常備色25色、7kg：常備色12色
つや	有り

・色相については、色見本帳をご用意していますのでご覧ください。

乾燥時間			
塗装場所の気温	5~10℃	23℃	30℃
指触乾燥	90分	40分	30分
塗り重ね乾燥	6時間以上	2時間以上	2時間以上

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

ニッペ シリコンルーフⅡ

本製品は、塗料配合中に鉛・クロムを含みません。

ペイントかわら版 読者募集!

登録無料 いますぐ登録を。



※QRコードが読み取れない場合は、こちらにアクセスしてください。
http://paintkwaraban.jp/form/

適用下地

- 鋼板屋根 ● トタン屋根
- 住宅用化粧スレート屋根 ● 波形スレート屋根

用途

- 戸建住宅 ● 各種工場 ● 体育館 ● 公共施設

施工上の注意事項 (詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などでご確認ください。)

○ 鋼板屋根、トタン屋根 塗り替え

- 十分な塗膜性能を確保するため、規定の使用量を塗装してください。
- ごみ・ほこり・砂・油・樹液などは、塗装前に水洗い、溶剤拭きなどで十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。
- なみがたトタンの山の部分やトタン板の縦目、折り曲げ部分は、膜が薄くなりがちです。先に拾い塗りするのが長持ちさせるコツです。
- 塗り重ねは規定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。硬化が不十分な場合は、塗料シンナーで再溶解するおそれがあります。
- トタン素地が見えている所、さびの生じている所はケレン後、必ずさび止め塗料を塗装してください。使用できるさび止め塗料については、各塗装仕様書をご参照ください。
- 鉛酸カルシウムさび止め (J I S K 5 6 2 9) は、下塗りに使用しないでください。
- 塩ビ鋼板の上の塗装は、避けてください。ただし、経年でつやが引けているような塩ビ鋼板に対しては、変性エポキシ樹脂プライマーを下塗りに使用することで塗装できる場合があります。詳細は事前にご相談ください。
- 低温、または高温時に塗装し、未乾燥状態で夜露などにあたると、つや引けを起こすおそれがあります。
- 積雪の荷重を最も受けやすい軒先の部分、瓦棟の凸部にこすり付けるように増し塗りを行ってください。
- 秋期のような昼と夜の温度差が激しい時期には結露によるつや引け現象が起こりやすいため、午後3時以降の塗装は避けてください。
- 塗り替え直後は、滑雪性がよくなる場合があります。積雪時にまとまった雪が落ちる可能性が有りますのでご注意ください。
- さびは、ワイヤブラシ・サンドペーパーなどで入念に除去し、膨れ・割れの発生にも注意し、十分なケレンを行ってください。
- 所定のシンナー以外を使用したり、薄過ぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- 異なる色相を塗り重ねる場合 (例: 1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など) 2回目の上塗りが1回目の上塗りを侵してラインや帯などが変色 (ブリードにより) する場合がありますのでご注意ください。

○ 住宅用化粧スレート屋根、波形スレート屋根 塗り替え

- 山間部、あるいは夜露の早く降りる地域では、早めに塗装を終えて十分に乾燥時間を確保してください。(光沢低下、膨れ、割れ、はく離の原因になります。)
- 水洗い後は、1日以上乾燥させてください。また素材表面が雨、露などで濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。(光沢低下、膨れ、割れ、はく離の原因となります。)
- 下地調整が不十分だと塗膜はく離の原因となり、光沢が出ないなどの仕上がり不良になる場合があります。塗り替えには必ず素地に近づけ9.8MPa(=100kgf/cm²)以上の高圧水流が金属ワイヤブラシなどによるケレン後、水洗いを実施し、付着物、劣化塗膜や基材の劣化物を十分に除去してください。
- 経年劣化や下地の劣化が著しい場合は、ニッペシリコンペスト強化シーラー、またはニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- ニッペシリコンペスト強化シーラーをご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響

により旧塗膜を侵し、溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する事があります。試し塗りなどで確認の上、本施工を行ってください。

- 洋風コンクリート瓦 (モニエル瓦など) 粘土瓦 (いぶし瓦、軸葉瓦など) には使用しないでください。なお、洋風コンクリート瓦については、別途ご相談ください。
- シーラー類、サフェーサーと上塗りの混合は避けてください。はけ、ローラーなどの共用も避けてください。
- 下塗り乾燥後、ガムテープで基材のはく離がないかチェックし、はく離がある場合は、再度下塗りを塗付してください。

○ 共通

- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおそれがあります。
- 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類を確認の上、塗装仕様をご検討ください。
- 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 塗装場所の気温が10℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 塗料は内容物が均一になるようによくかき混ぜてください。薄過ぎは隠れ力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合は、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合があるので、ローラー塗りは出来る限り隅入り隅まで入れてください。
- 汚れ、傷などにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 塗装面以外に付着した場合は、乾燥するまでにラッカーシンナーまたは塗料用シンナーで洗い落としてください。
- ローラー、ハケなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、ハジキなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 使用前に内容物が均等になるようによくかき混ぜ、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項 (ニッペシリコンルーフⅡ チョコレート)

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱いしてください。
- 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。一禁煙です。
- 容器を密閉してください。
- 容器および受器を接地してください。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
- 火花を発生しない工具を使用してください。
- 粉じん/ガス/蒸気/スプレーなどを吸入しないでください。
- 必要なとき以外は、環境への放出を避けてください。
- この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないでください。
- 汚染された作業衣は密封袋に入れて作業場から出してください。
- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分にしてください。
- 適切な保護手袋/防毒マスクまたは防塵マスク/保護眼鏡/保護面罩/保護衣を着用してください。
- 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- 飲み込んだ場合: 気分が悪くときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後洗浄を繰り返してください。
- 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- 皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水で洗ってください。
- 皮膚に付いた場合、多量の水とせっけんで洗ってください。
- 取り扱った後、手を洗ってください。
- 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。

- 直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください/取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
 - 粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
 - 暴露したとき、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
 - 緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施してください。
 - 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
 - 水を消火に使用しないでください。適切な消火剤として、粉末、乾燥砂があります。
 - 容器からこぼれたときには、布でふき取って水を張った容器に保管してください。
 - 旋回して子供の手の届かないところに保管してください。
 - 直射日光や水濡れは厳禁です。
 - 塗料などの缶の積み重ねは3段までとしてください。
 - 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上 (スプレー缶の場合は40℃以上) の温度に暴露しないでください。
 - 内容物/容器を廃棄するときには、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
 - 塗料、塗料容器、塗料具を廃棄するときには、産業廃棄物として処理してください。
 - 容器、塗料具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- *上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。
■ 詳細な内容、表示以外の商品については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
■ 本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください

危険



危険有害性情報

引火性液体および蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ/発がんのおそれの疑い/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/臓器の障害(単回暴露)/長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害/水生生物に非常に強い毒性(急性)/長期的影響により水生生物に強い毒性

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120(東京)

☎06-6455-9113(大阪)

http://www.nipponpaint.co.jp/

●本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●©Copyright2012 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.
●本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

カタログNo.

NP-Q010

KE120510T

2012年5月現在

●当社は2012年5月現在ISO 14001を全事業所で認証取得しております。●このカタログは再生紙を使用しています。